

現在、好生館では、当館で保管する検体・診療情報等を使って研究を実施しています。この研究は倫理審査委員会の承認を受けた研究計画書に従い、実施しています。

研究の詳細についてお知りになりたい、またはこの研究に対して利用・提供してほしくないと思われた際には、好生館の問い合わせ担当者までご連絡ください。

【研究課題名】 75 歳以上の高齢外傷患者における下肢一時的創外固定の有効性と問題点

【研究対象者】

2014 年 4 月から 2023 年 3 月までの間に、整形外科において下肢骨折に対して一時的創外固定手術を受けられた方（受傷時年齢が 20 歳以上の方）

【利用している検体・診療情報等の項目】

〔診療情報等〕 診断名、年齢、性別、入院日、受傷機転、既往歴、併存疾患名、入院期間、診療内容、合併症の有無、骨折治癒の経過等

【利用の目的】

開放骨折や下肢の粉碎骨折などで受傷後ただちに骨折の内固定手術（金属インプラントをもちいて骨折部の整復と固定を直接的に行うこと）ができない場合、応急処置的に創外固定手術を行って待機し、後日内固定手術を行うという治療法があります。受傷後早期より骨折部を安定にすることで、骨折部やその周囲組織の治癒を促進するほか、疼痛の軽減、早期の離床を促進する効果がありますが、高齢の患者さんに適用した場合の情報が少ないのが現状です。今回の研究では各年齢層で下肢の一時的創外固定を行った患者さんの治療経過について検討し、特に 75 歳以上の高齢の患者さんにおける有効性や問題点を知ることが目的としています。

【研究について】

遺伝子解析研究 （ 無 ）

営利企業との共同 （ 無 ）

【利用期間】

2025 年 7 月から 2026 年 7 月の間

【佐賀県医療センター好生館 研究責任者及び問い合わせ担当者】

研 究 責 任 者：整形外科 塚本伸章

問い合わせ担当者：整形外科 塚本伸章

対 応 可 能 時 間： 平日 9 時 ～ 16 時

電 話 ： 0952-24-2171（代表）

E メール：rinscho@koseikan.jp（臨床試験推進部）